

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果公表③について

文部科学省・国立教育政策研究所
令和8年9月

目次

1. 令和8年度全国学力・学習状況調査の概要	・・・	2
2. 都道府県・指定都市別結果（公立）	・・・	5
（1）分布や習熟度に見配りした統計表やグラフ	・・・	5
（2）都道府県・指定都市別結果チャート	・・・	13
（3）都道府県（指定都市を含む）の散布図	・・・	30
（参考）都道府県・指定都市別ノートの見方について	・・・	39

1. 令和8年度全国学力・学習状況調査の概要

① 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

② 調査概要

調査実施日	令和8年4月20日(月)～5月29日(金)
調査対象	小学校6年生、中学校3年生
調査事項	①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、 英語（中学校のみ） 〕 / 質問調査 ②学 校：質問調査 ※令和5年度以来の実施
調査問題	・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。
今年度の調査の特徴	・中学校・英語（4技能（聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと））の 全面CBT（Computer Based Testing）化 ※「話すこと」調査のみ令和5年度もCBTで実施 ・小学校・児童質問でのランダム方式の導入

③ 調査結果の取扱いの改善の方向性（令和7年度～）

●結果返却スケジュールの前倒し

- 児童生徒の学びへの還元を最優先に、学校への結果返却の時期を前倒し。
- 国による結果公表は3段階に分けて行い、全国データに基づく分析結果をより効果的に発信するとともに、都道府県・指定都市の主体的な分析期間を確保。

7/16 公表①	正答率・IRTバンドなどの全国平均 学校向け帳票・個人票提供
----------	-----------------------------------

8/3 公表②	全国データに基づく分析結果
---------	---------------

9/30 公表③	都道府県・指定都市別データに基づく分析結果
----------	-----------------------

●都道府県・指定都市別の結果公表の在り方

- 本調査の目的を達成する観点から、学びの改善につながる各種データを正確かつ効果的に公表し、調査実施主体として国が説明責任を果たす。
引き続き都道府県・指定都市の単位で平均正答率・スコアを含む結果公表を行いつつ多面的に解釈することができる示し方に改善する。
 - ・分布や習熟度に目配りした統計表やグラフなどを示す
 - ・学力に影響する他の様々な要素も組み合わせメッセージを示す
 - ・質問調査も合わせた結果全体について、特徴を把握しやすい形で示す
 - ・表・グラフに加え、記述的な説明を充実する

4 全国の正答率・IRTスコア結果概要

※ 中学校英語は、IRT（項目反応理論）に基づき、500を基準に算出したIRTスコアで結果を表示。
IRTスコアは、「聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと」の4技能を統合したもので、「話すこと」の当日実施校（46,645人分）のデータに基づいて全国値を算出。

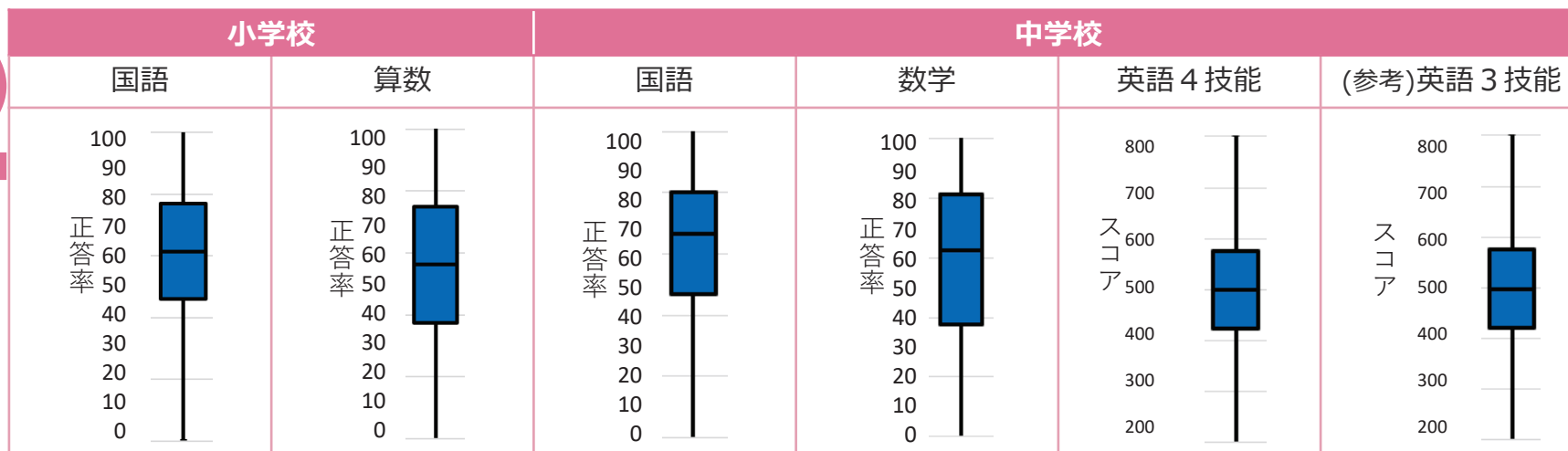
R8

全国（国公私）の
平均正答数（率）・
平均IRTスコア

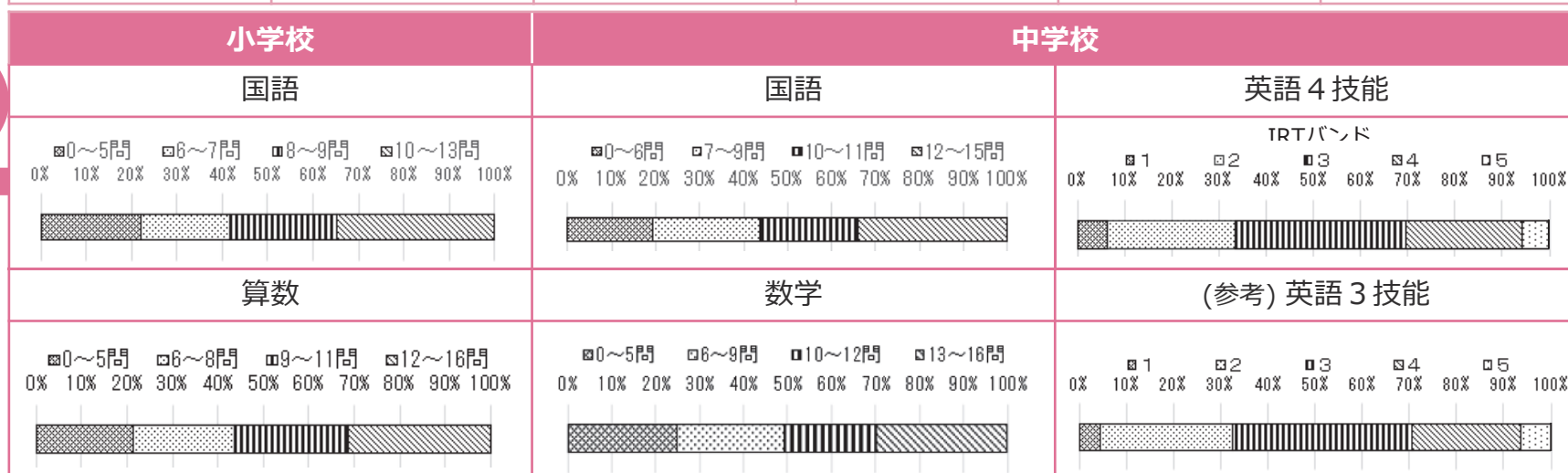
小学校		中学校			
国語	算数	国語	数学	英語 4 技能	(参考)英語 3 技能
7.9/13 問 (61.1%)	9.1/16 問 (56.6%)	9.6/15 問 (64.2%)	9.2/16 問 (57.4%)	499	502

※ 各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なることから、**過年度の結果と単純に比較することは適当ではない**ことに留意が必要。

全国の正答率・
IRTスコアの分布



正答数・IRTバンド
ごとの層分布



※ 本調査におけるIRTバンド（中学校英語）は、理想的な正規分布となった場合、バンド3が約40%、バンド2及びバンド4が約23%、バンド1及びバンド5が約7%となるように設定したもののだが、実際の各生徒のスコア状況により各バンドの割合は変動する。

中学校英語 IRTバンド	1	2	3	4	5
4技能スコア換算	~341	342~448	449~556	557~663	664~
3技能スコア換算	~329	330~443	444~558	559~673	674~

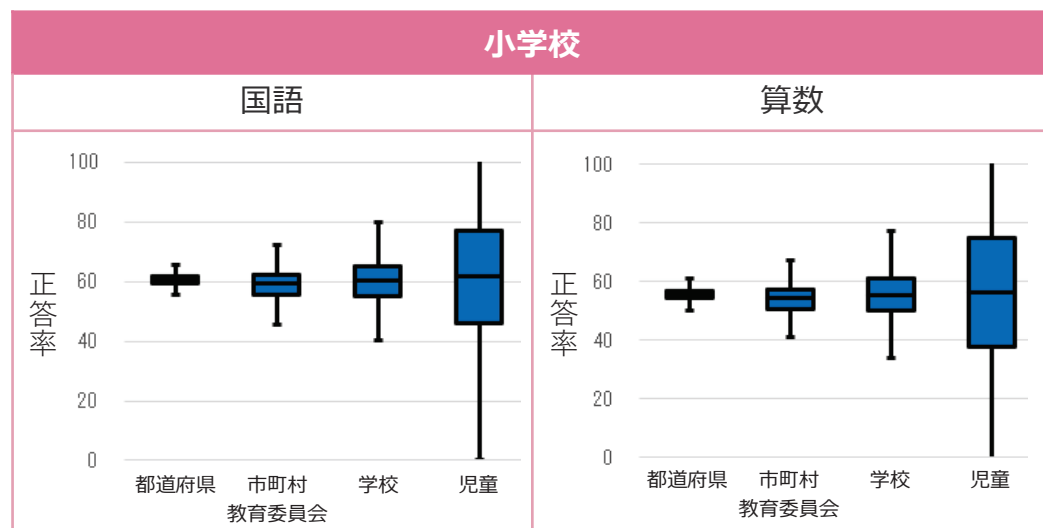
5 都道府県・指定都市別公表の趣旨・ねらい

- ・ 調査の実施主体として、国が都道府県・指定都市単位で結果の公表・分析を行うことが必要。
- ・ その一環として、都道府県・指定都市における教育施策の充実に資する情報を提供することが重要。
- ・ 本調査の結果は、自治体が教育施策の充実等を図る際、他自治体の施策を参照するものとして活用されている。
都道府県・指定都市単位の結果を示すことは、そうした各自治体の取組を支援することによって有効。
- ・ そのため、序列化や過度な競争を生じさせないように留意しつつ、都道府県・指定都市単位の結果を一部示すとともに、より詳細なクロス分析においても、参考となり得る一部の都道府県名を公開。

6 結果公表①（7/16）の結果概要

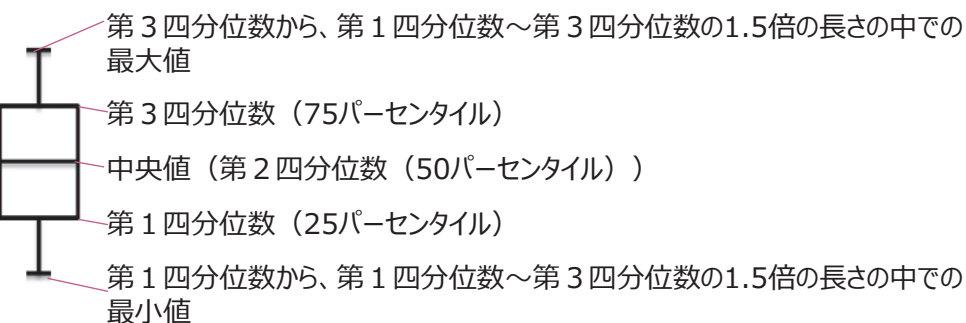
- ・ 各集計単位の平均正答率・スコアのばらつきは過年度と比べて大きな変化は見られない。
- ・ 都道府県別の平均正答率・スコアについては、ばらつきの状況は狭い範囲に収まっている。

（結果の一部抜粋）※詳細は7/16に公表した調査結果参照



（参考：用語の説明）

箱ひげ図



パーセンタイル

計測値の統計的分布の上で、小さい方から数えて何%目の値は、どれくらいかという見方をする統計的表示法

2. 都道府県・指定都市別結果（公立）

R8

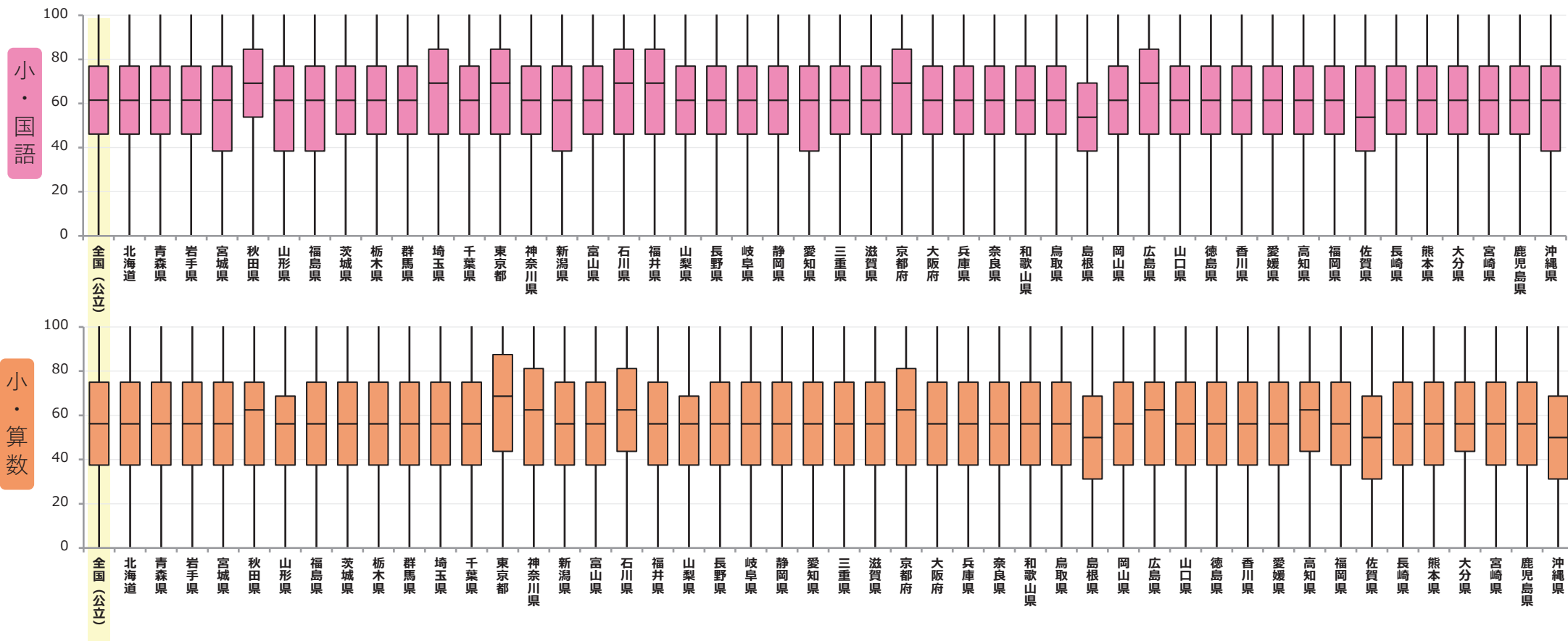
(1) 分布や習熟度を目配りした統計表やグラフ

① 都道府県（指定都市を含む）別 箱ひげ図

ポイント

全ての教科において、各都道府県の平均正答率の分布は、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られない。

縦軸：平均正答率



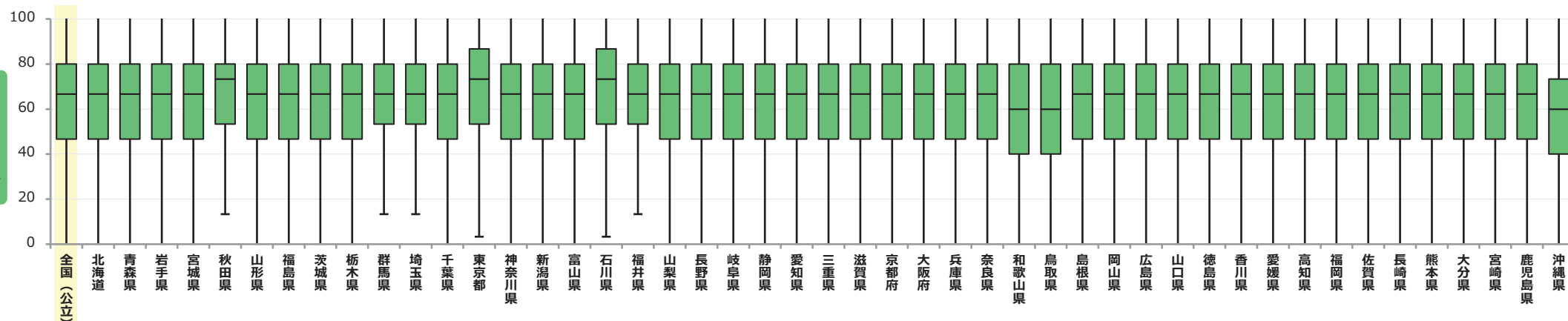
①都道府県（指定都市を含む）別
箱ひげ図

ポイント

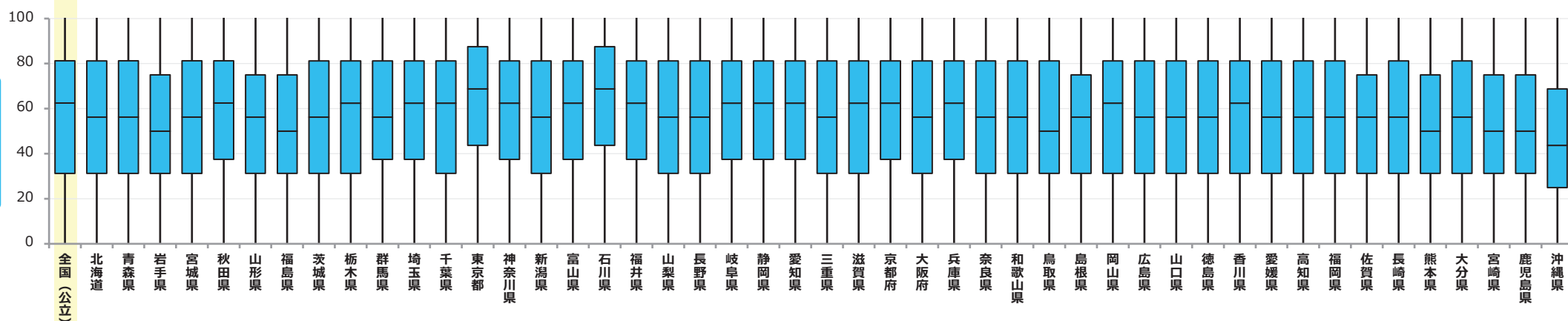
全ての教科において、各都道府県の平均正答率・スコアの分布は、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られない。

縦軸：平均正答率・平均IRTスコア

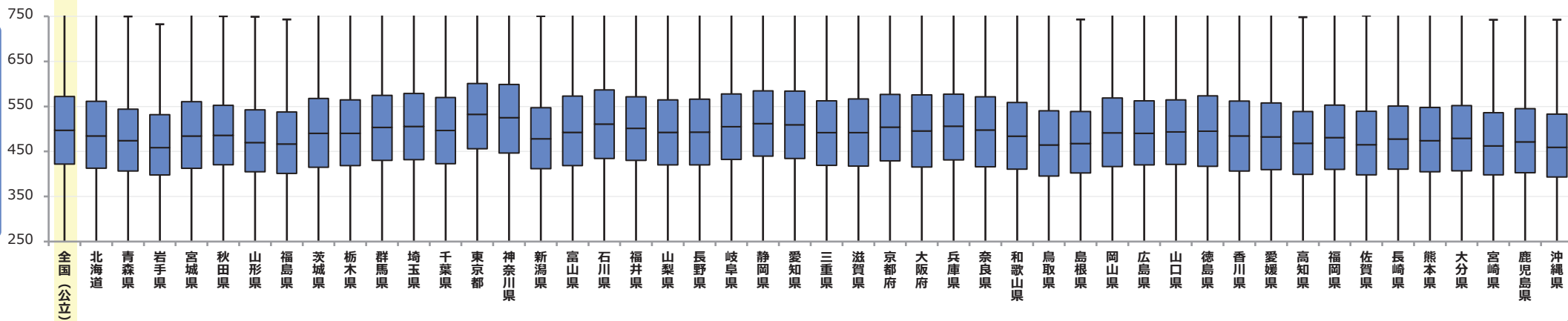
中・国語



中・数学



中・英語4技能



②都道府県（指定都市を除く）・指定都市別

箱ひげ図

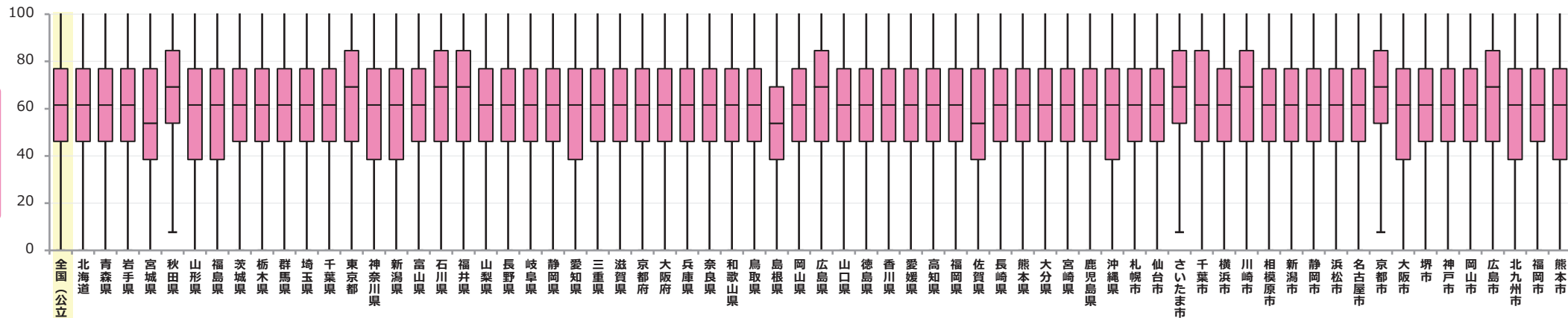
ポイント

全ての教科において、各都道府県・指定都市の平均正答率の分布は、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られない。

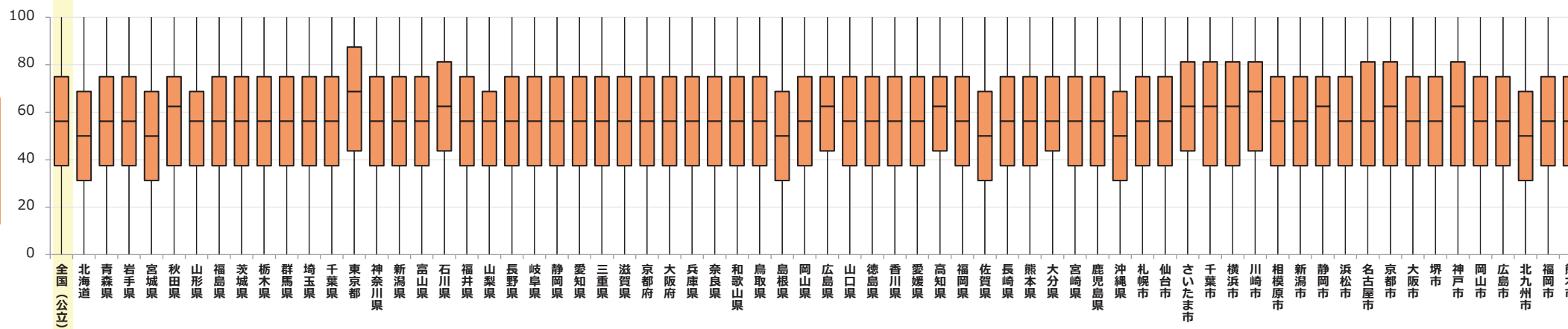
R8

縦軸：平均正答率

小・国語



小・算数



②都道府県（指定都市を除く）・指定都市別

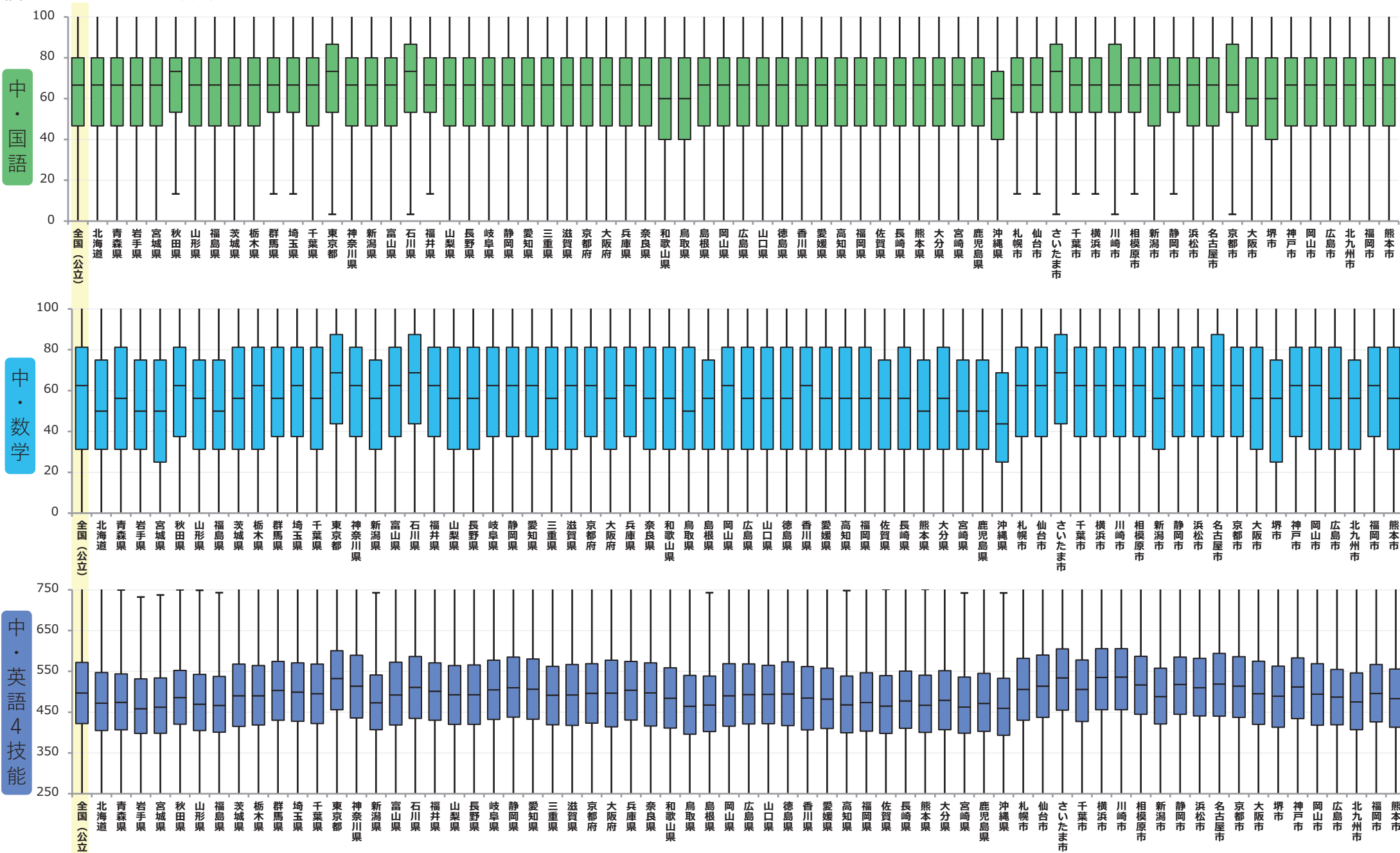
箱ひげ図

ポイント

全ての教科において、各都道府県・指定都市の平均正答率・スコアの分布は、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られない。

R8

縦軸：平均正答率・平均IRTスコア



③都道府県（指定都市を含む）別 正答数・IRTバンドの層分布

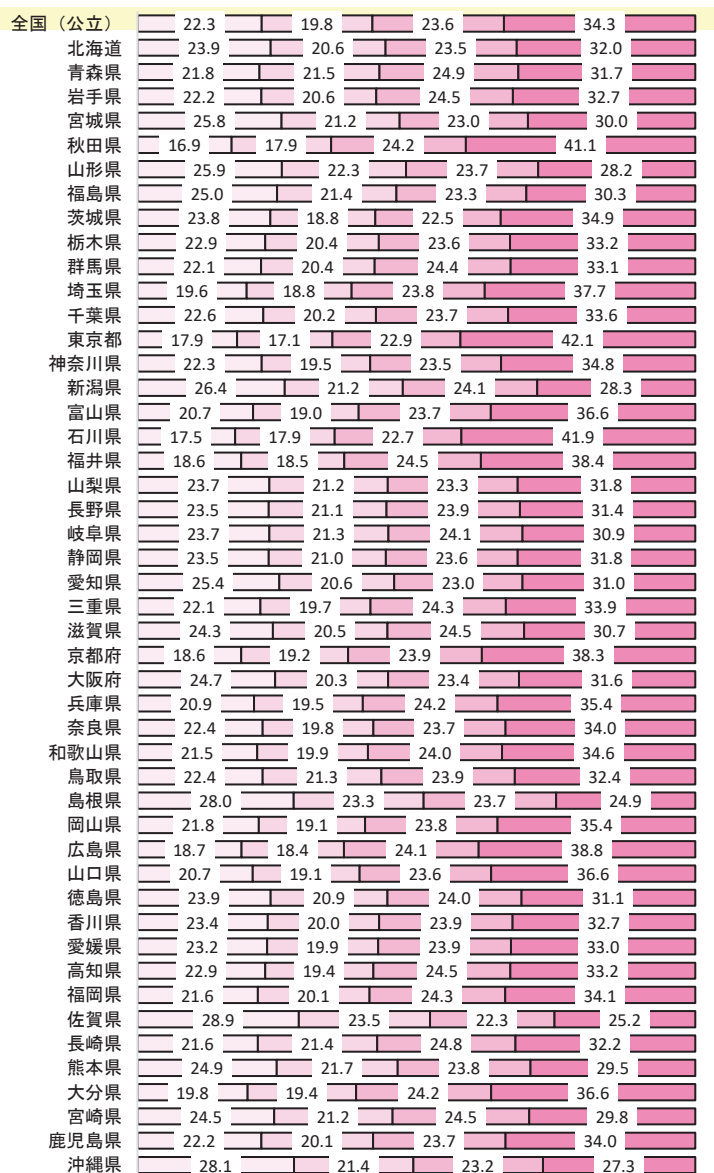
ポイント

全ての教科において、各都道府県の正答数の層分布は、全国的な傾向と大きな差は見られない。

R8

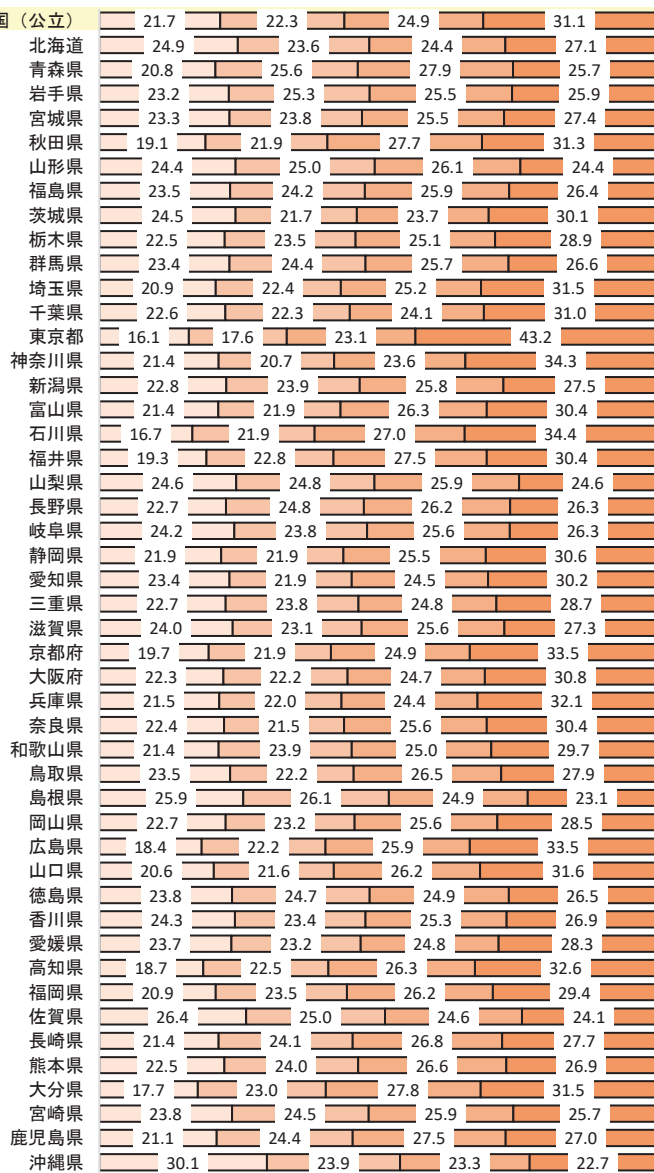
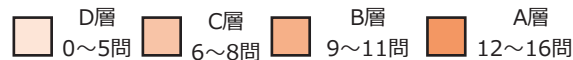
※各層は、児童生徒を正答数の大きい順に並べ、人数割合により約25%刻みで四つに分けている。

小・国語



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

小・算数



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

③都道府県（指定都市を含む）別 正答数・IRTバンドの層分布

ポイント

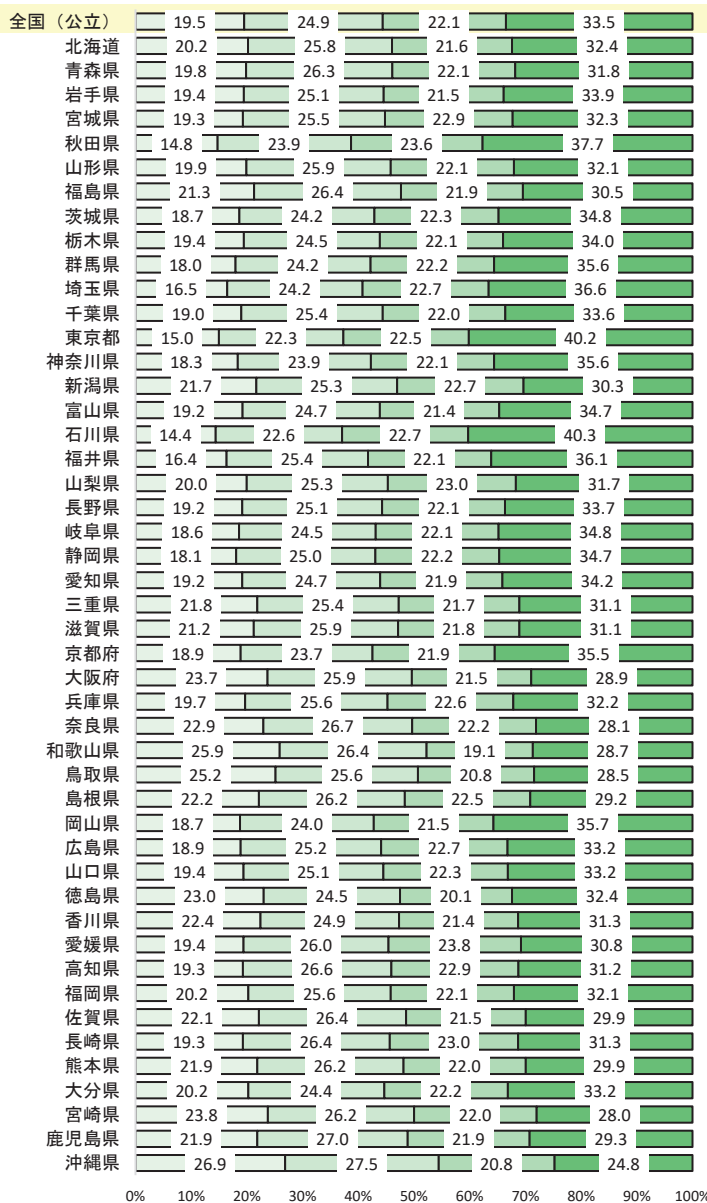
全ての教科において、各都道府県の正答数・IRTバンドの層分布は、全国的な傾向と大きな差は見られない。数学においては、一部の都道府県で、全国（公立）と比べてD層の割合が10ポイント以上多い。

R8

※各層は、児童生徒を正答数の大きい順に並べ、人数割合により約25%刻みで四つに分けている。
※中学校英語については、3を基準とし、5を最も高いバンドとしている。

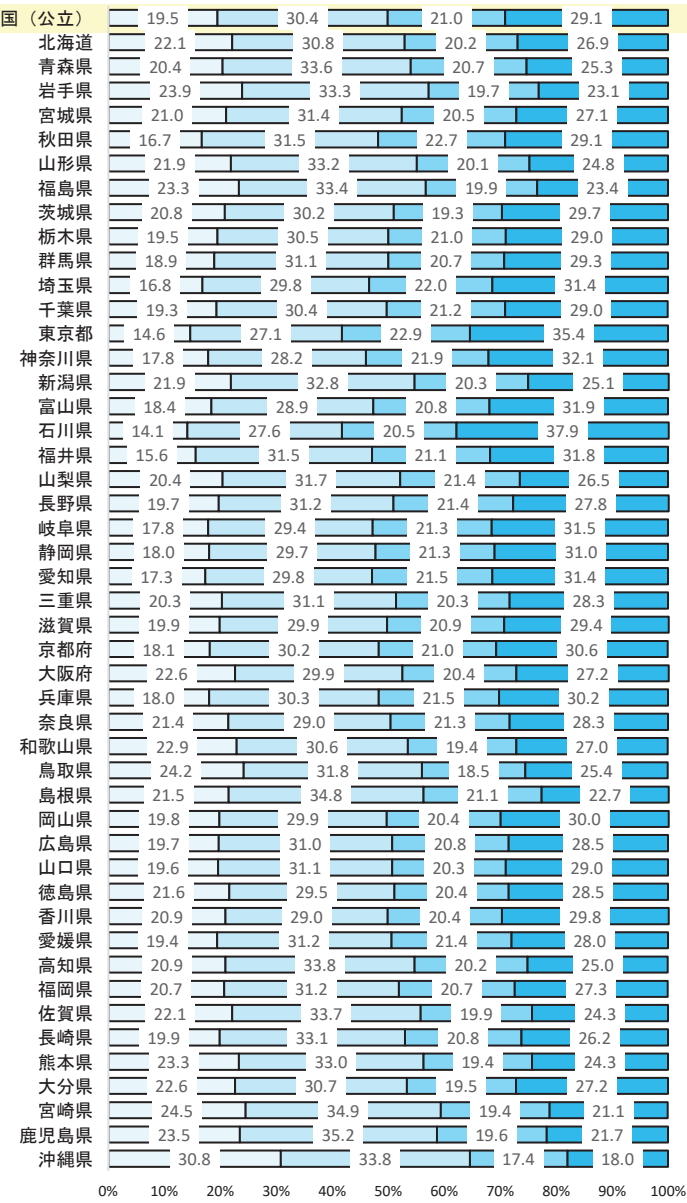
中・国語

D層 0~6問 C層 7~9問 B層 10~11問 A層 12~15問



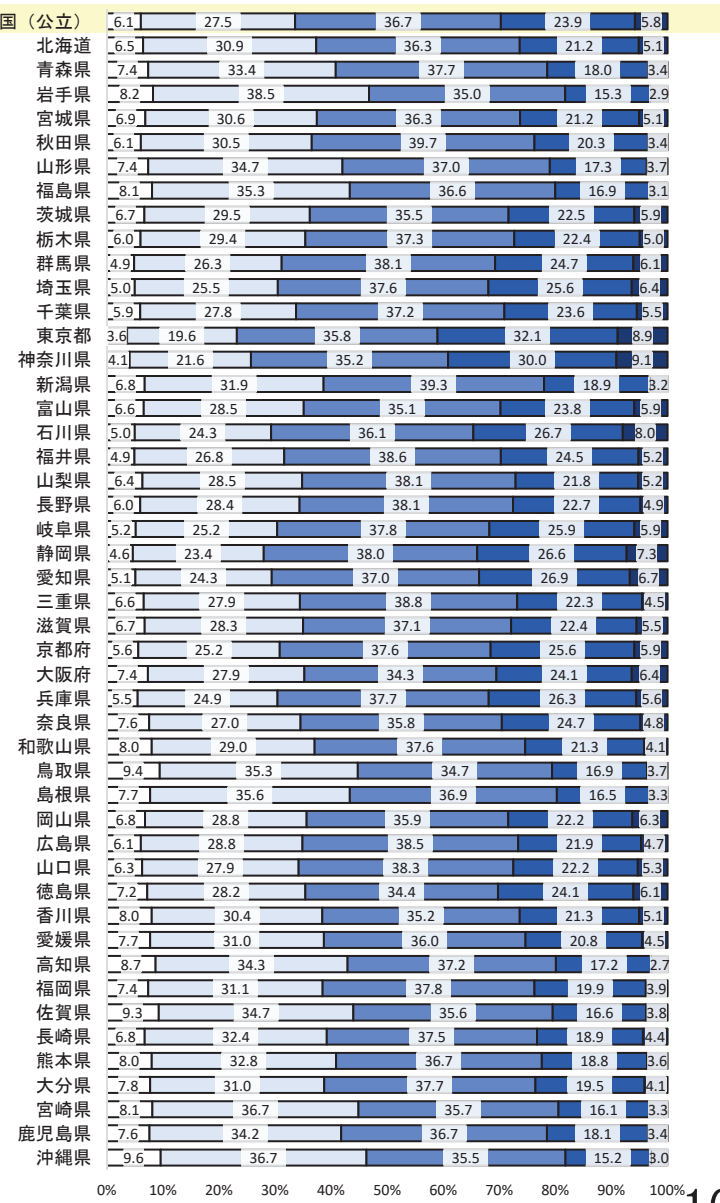
中・数学

D層 0~4問 C層 5~9問 B層 10~12問 A層 13~16問



中・英語 4 技能

バンド1 ~341 バンド2 342~448 バンド3 449~556 バンド4 557~663 バンド5 664~



④ 都道府県 (指定都市を除く) ・ 指定都市別
正答数・IRTバンドの層分布

ポイント

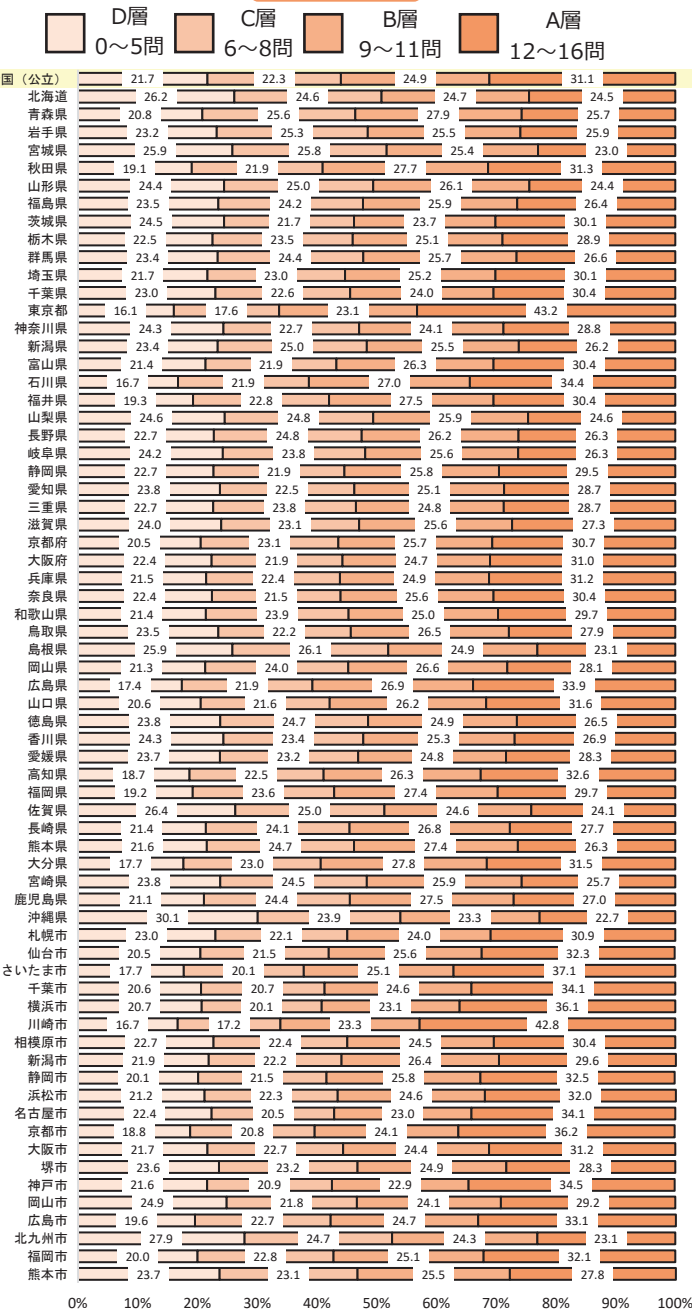
全ての教科において、各都道府県・指定都市の正答数の層分布は、全国的な傾向と大きな差は見られない。

R8

※各層は、児童生徒を正答数の大きい順に並べ、人数割合により約25%刻みで四つに分けている。

小・国語

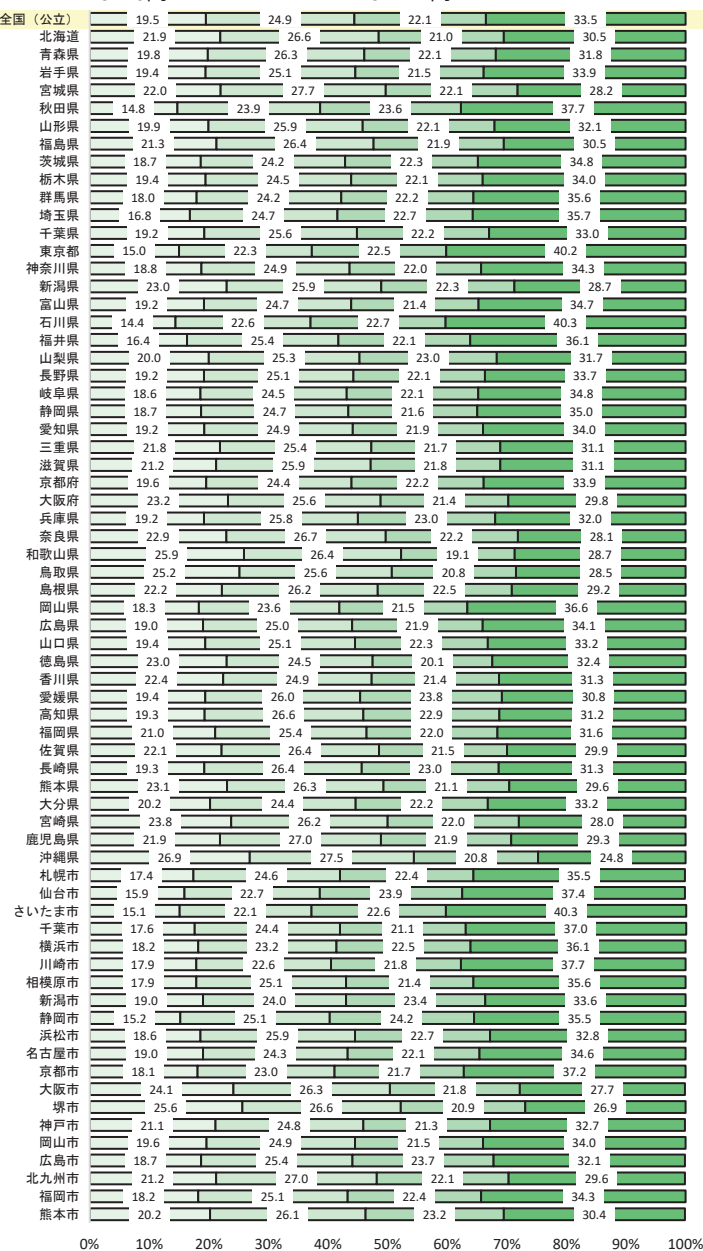
小・算数



④都道府県（指定都市を除く）・指定都市別
正答数・IRTバンドの層分布

中・国語

D層 0～6間 C層 7～9間 B層 10～11間 A層 12～15間



ポイント

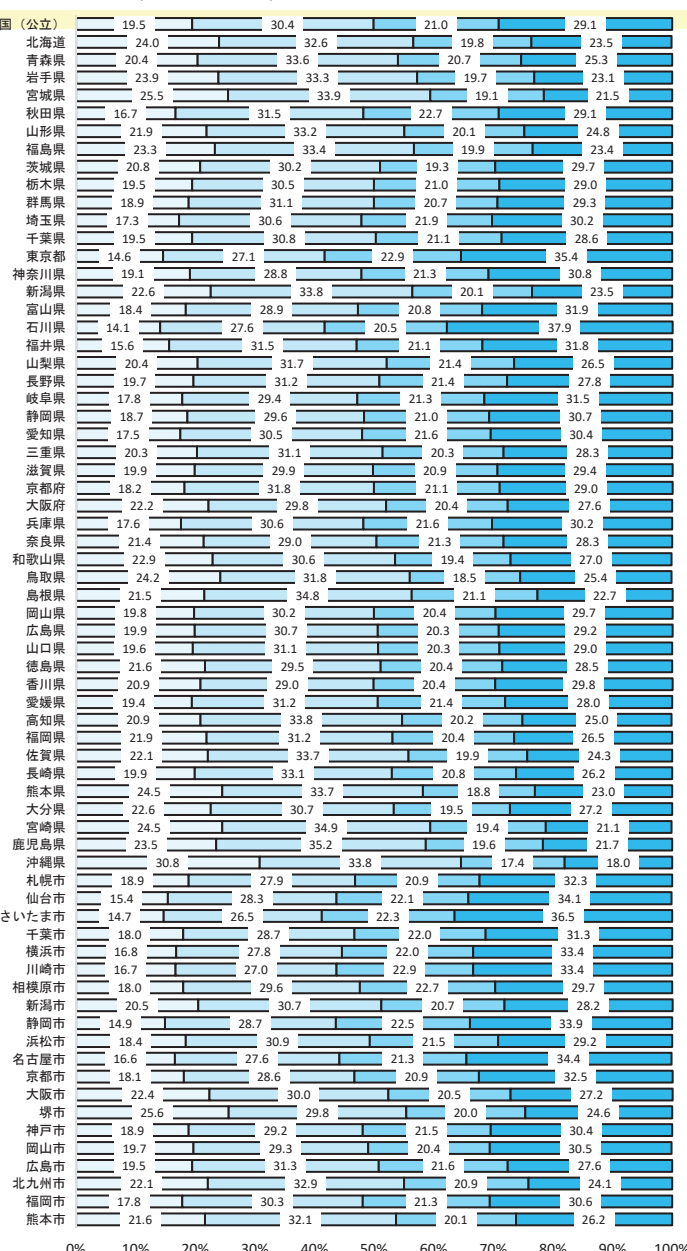
全ての教科において、各都道府県・指定都市の正答数・IRTバンドの層分布は、全国的な傾向と大きな差は見られない。数学においては、一部の都道府県で、全国（公立）と比べてD層の割合が10ポイント以上多い。

R8

※各層は、児童生徒を正答数の大きい順に並べ、人数割合により約25%刻みで四つに分けている。
※中学校英語については、3を基準とし、5を最も高いバンドとしている。

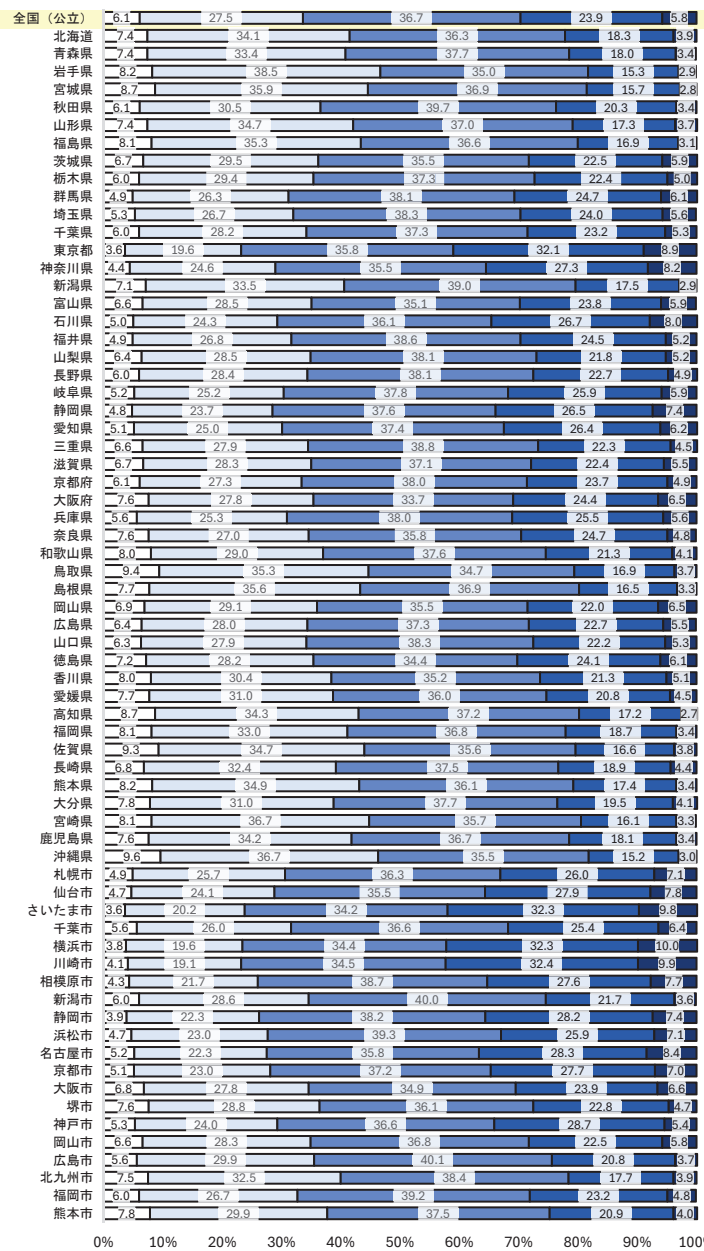
中・数学

D層 0～4間 C層 5～9間 B層 10～12間 A層 13～16間



中・英語 4 技能

バンド1 ~341 バンド2 342~448 バンド3 449~556 バンド4 557~663 バンド5 664~



(2)都道府県・指定都市別結果チャート

- 各自治体や学校において児童生徒の学力・学習状況等について多面的な分析を行うことをねらいとして開発。
- 都道府県・指定都市別の児童生徒・学校質問調査の「領域別回答状況」の得点換算方法
 - (1) 学校別に、領域ごとの質問項目回答割合から、肯定的な回答割合が高いほど点数が高くなるよう得点を算出。
 - (2) (1)で学校別に算出した得点を全国平均が0、標準偏差が1になるように標準化する。
 - (3) 当該都道府県（又は指定都市）内の算出の対象とする全学校について、(2)の数値の平均を算出する。
 - (4) (3)で算出された得点に5.0を加える。

＜教科を中心とした学力・学習状況の領域名と児童（生徒）質問番号の対応一覧表＞

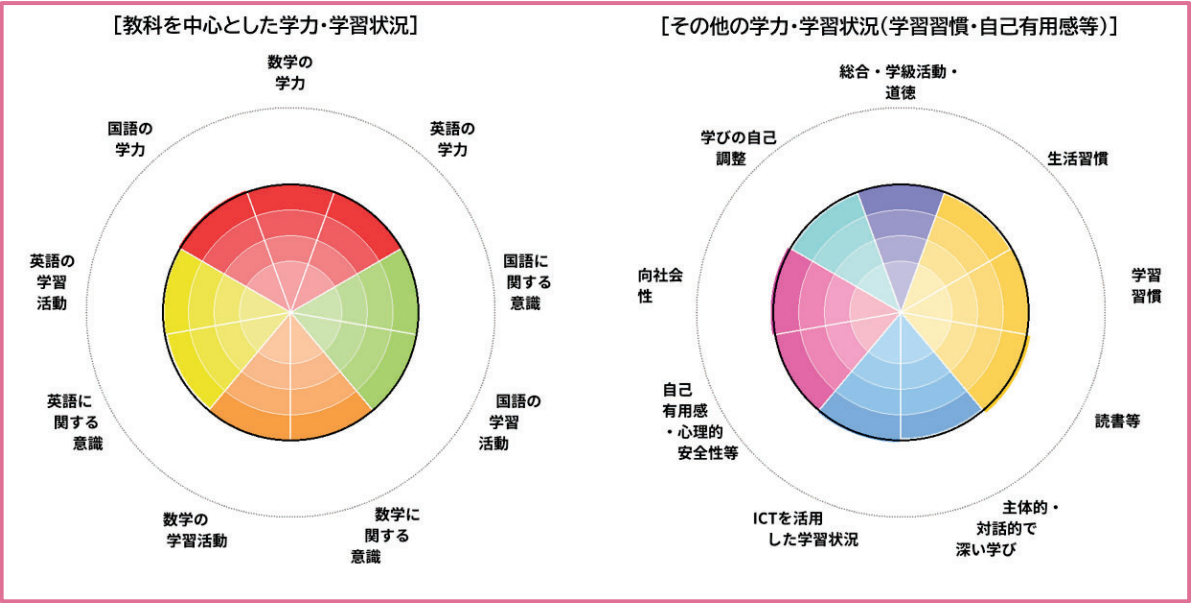
領域番号	領域名	児童(生徒)質問 対応領域・質問番号
1	国語の学力	
2	算数(数学)の学力	
(3)	英語の学力	
3 (4)	国語に関する意識	(52) (53) (55)
4 (5)	国語の学習活動	(54) (56)～(59)
5 (6)	算数(数学)に関する意識	(60) (61) (63) (64)
6 (7)	算数(数学)の学習活動	(62) (65)～(67)
7 (8)	英語に関する意識	(69)～(71) (69) (70) (72) (73) 小学校 中学校
8 (9)	英語の学習活動	(72) (73) (71) (74)～(76) (78)～(80) 小学校 中学校

※領域番号3については、中学校のみ。英語3技能のスコアで算出
※領域番号1～3については、各教科の全国平均正答率(領域番号3については全国平均IRTスコア)を基準として比較したものである。
※領域番号3(4)～8(9)については、「小学校児童(中学校生徒)質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

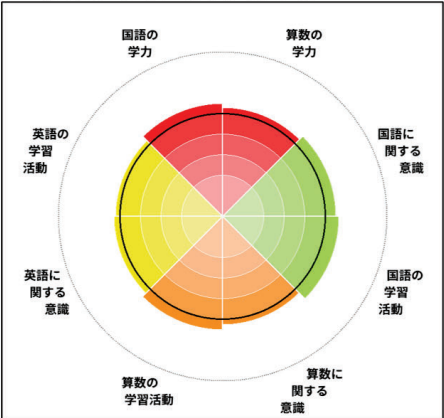
＜その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）の領域名と児童（生徒）質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	児童(生徒)質問 対応領域・質問番号
9 (10)	総合・学級活動・道徳	(47)～(51)
10 (11)	生活習慣	(1)～(4)
11 (12)	学習習慣	(23) (25)
12 (13)	読書等	(26)～(30)
13 (14)	主体的・対話的で深い学び	(38)～(42) (44) (46)
14 (15)	ICTを活用した学習状況	(35) (36-1)～(36-4)
15 (16)	自己有用感・心理的安全性等	(6)～(9) (13) (15) (17) (20) (21)
16 (17)	向社会性	(11) (12) (14) (33)
17 (18)	学びの自己調整	(22) (43)

※領域番号9(10)～17(18)については、「小学校児童(中学校生徒)質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

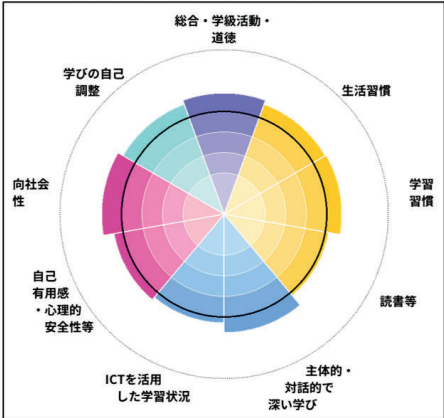


(例)小学校 福井(教科)



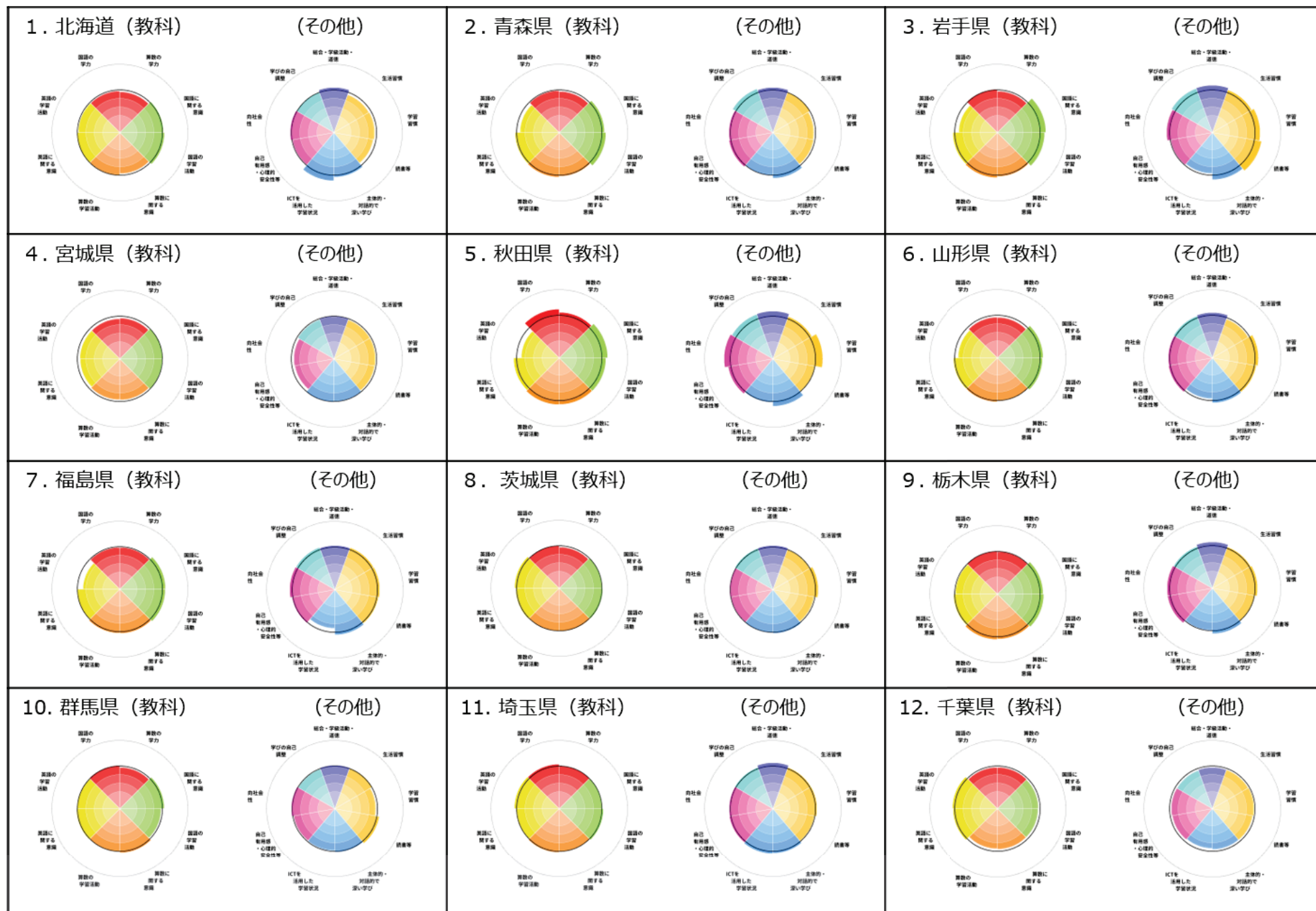
「国語の学習活動」の数値が高い

中学校 秋田(その他)



「向社会性」の数値が高い

※ 結果チャートの見方についてはP13をご参照ください。



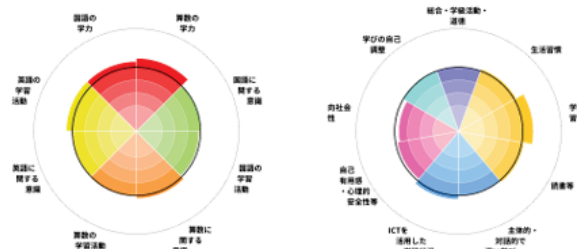
①都道府県（指定都市を含む）別 結果チャート

小学校

※ 結果チャートの見方についてはP13をご参照ください。

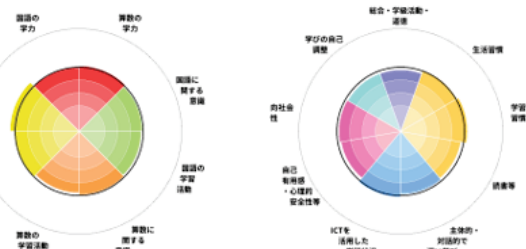
13. 東京都（教科）

（その他）



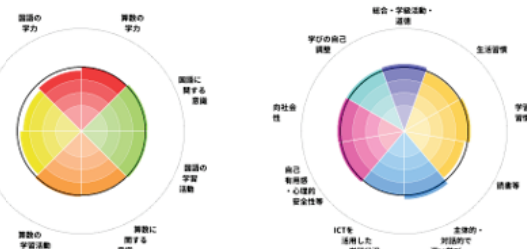
14. 神奈川県（教科）

（その他）



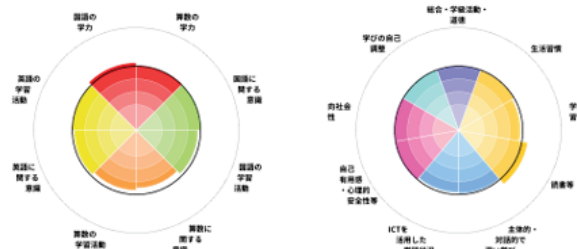
15. 新潟県（教科）

（その他）



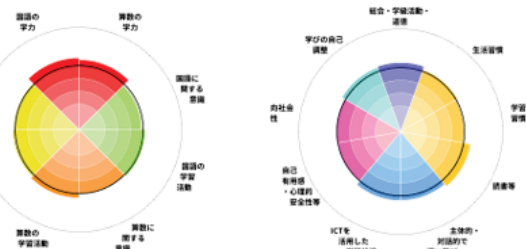
16. 富山県（教科）

（その他）



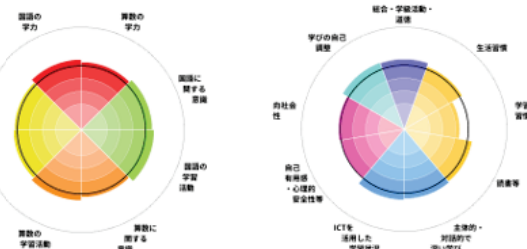
17. 石川県（教科）

（その他）



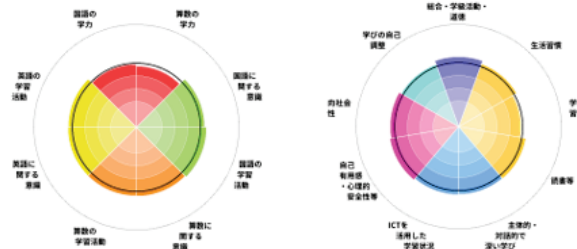
18. 福井県（教科）

（その他）



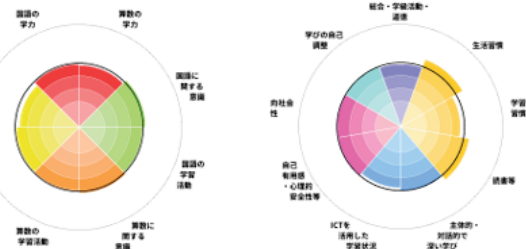
19. 山梨県（教科）

（その他）



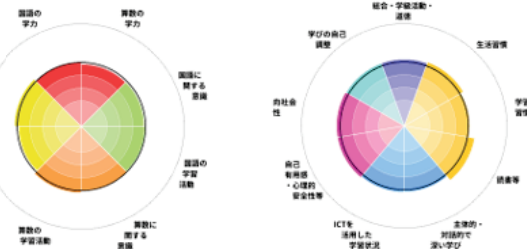
20. 長野県（教科）

（その他）



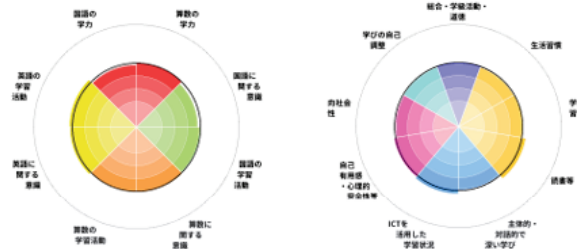
21. 岐阜県（教科）

（その他）



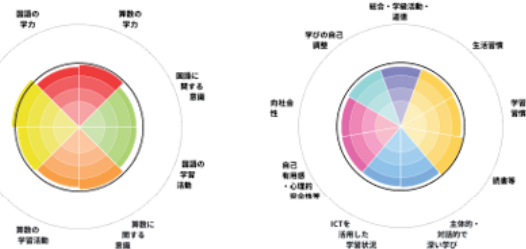
22. 静岡県（教科）

（その他）



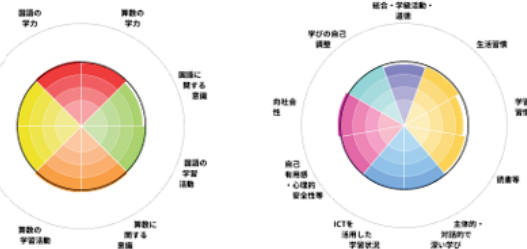
23. 愛知県（教科）

（その他）



24. 三重県（教科）

（その他）



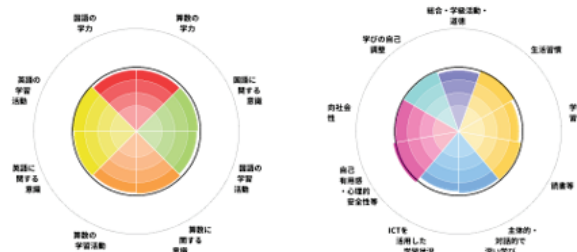
①都道府県（指定都市を含む）別 結果チャート

小学校

※ 結果チャートの見方についてはP13をご参照ください。

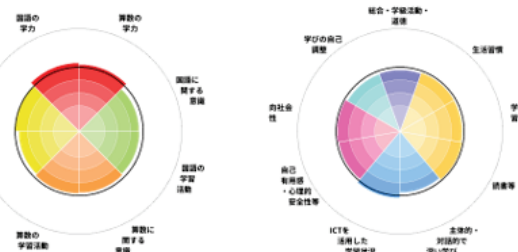
25. 滋賀県（教科）

（その他）



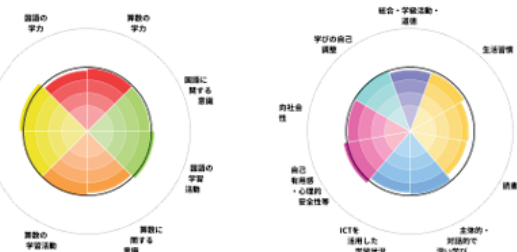
26. 京都府（教科）

（その他）



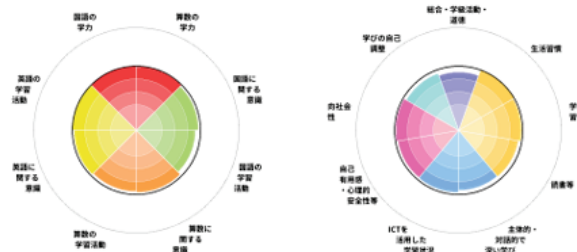
27. 大阪府（教科）

（その他）



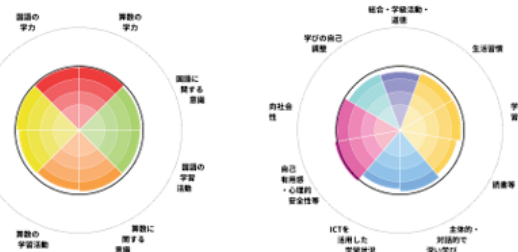
28. 兵庫県（教科）

（その他）



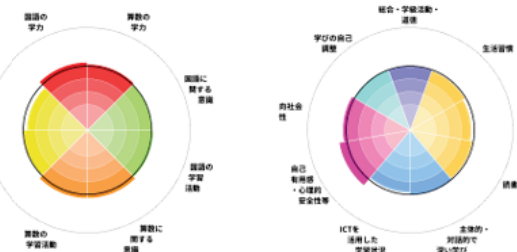
29. 奈良県（教科）

（その他）



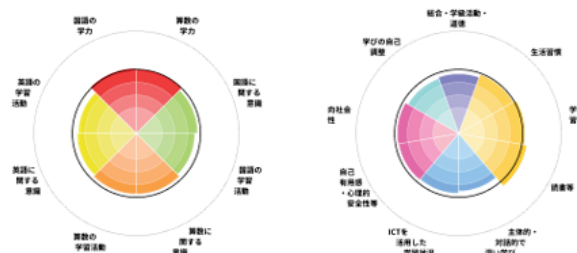
30. 和歌山県（教科）

（その他）



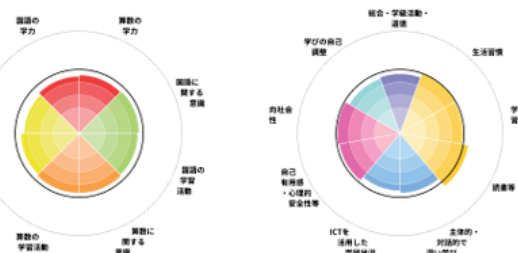
31. 鳥取県（教科）

（その他）



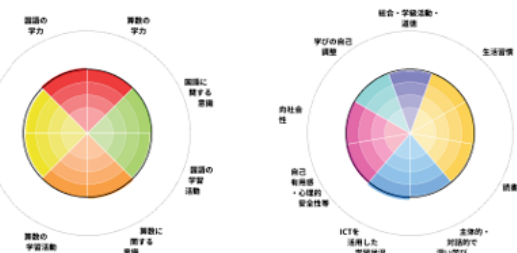
32. 島根県（教科）

（その他）



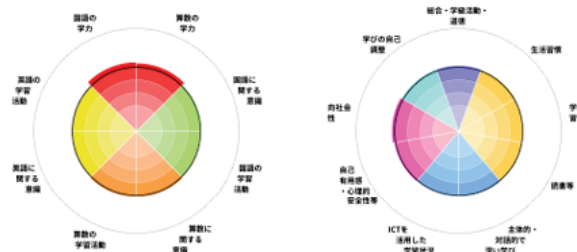
33. 岡山県（教科）

（その他）



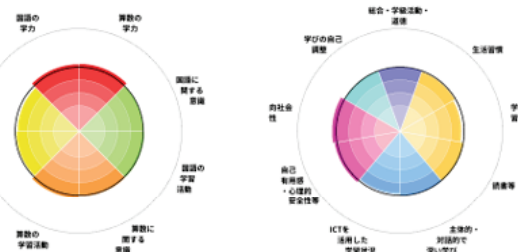
34. 広島県（教科）

（その他）



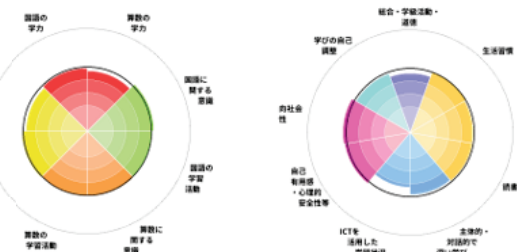
35. 山口県（教科）

（その他）



36. 徳島県（教科）

（その他）



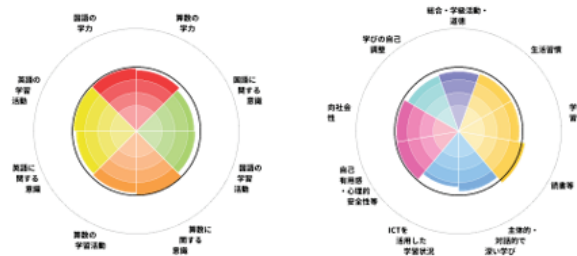
①都道府県（指定都市を含む）別 結果チャート

小学校

※ 結果チャートの見方についてはP13をご参照ください。

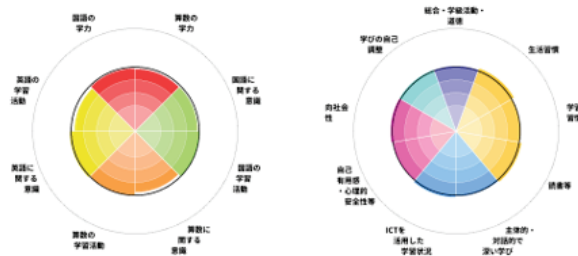
37. 香川県（教科）

（その他）



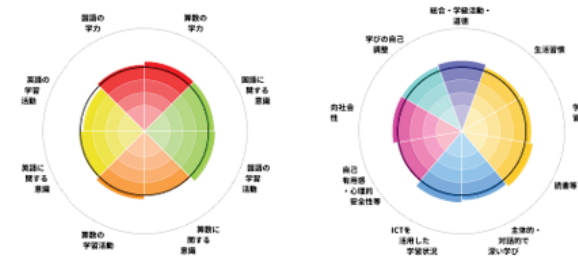
38. 愛媛県（教科）

（その他）



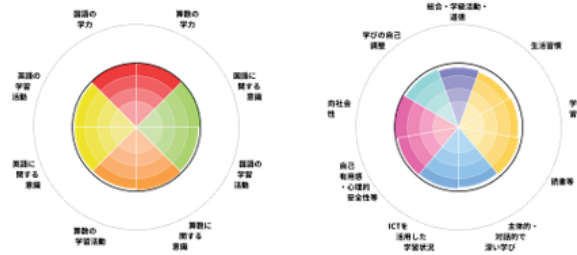
39. 高知県（教科）

（その他）



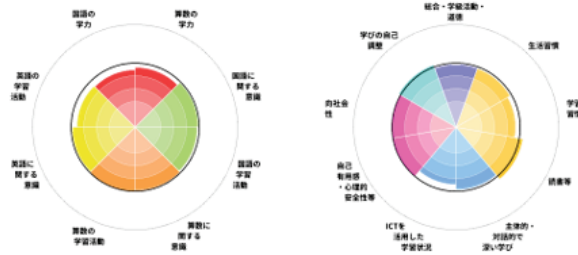
40. 福岡県（教科）

（その他）



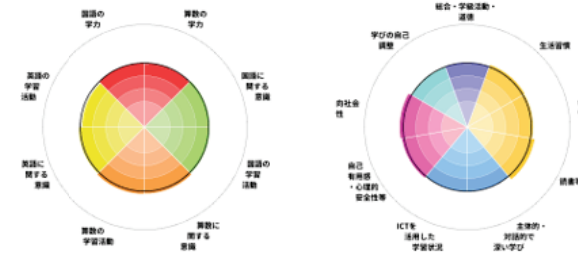
41. 佐賀県（教科）

（その他）



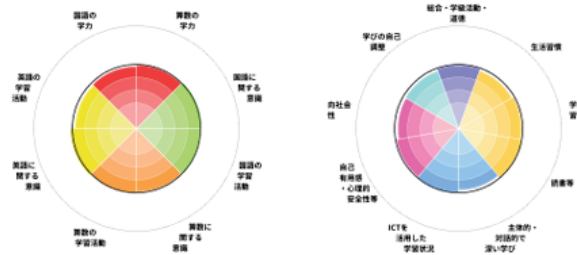
42. 長崎県（教科）

（その他）



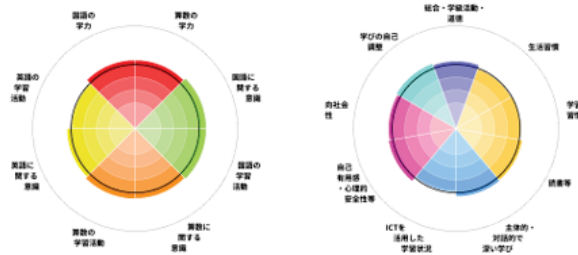
43. 熊本県（教科）

（その他）



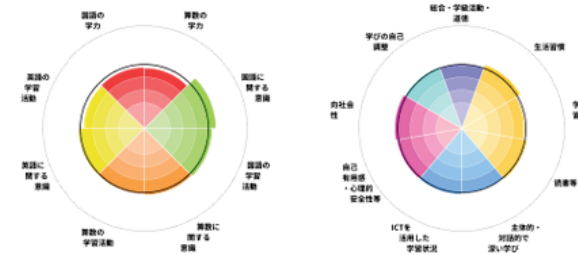
44. 大分県（教科）

（その他）



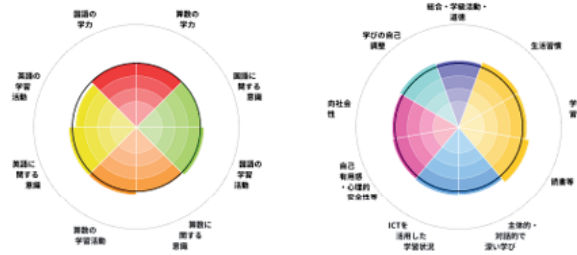
45. 宮崎県（教科）

（その他）



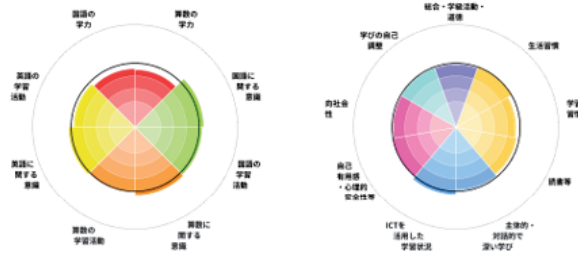
46. 鹿児島県（教科）

（その他）



47. 沖縄県（教科）

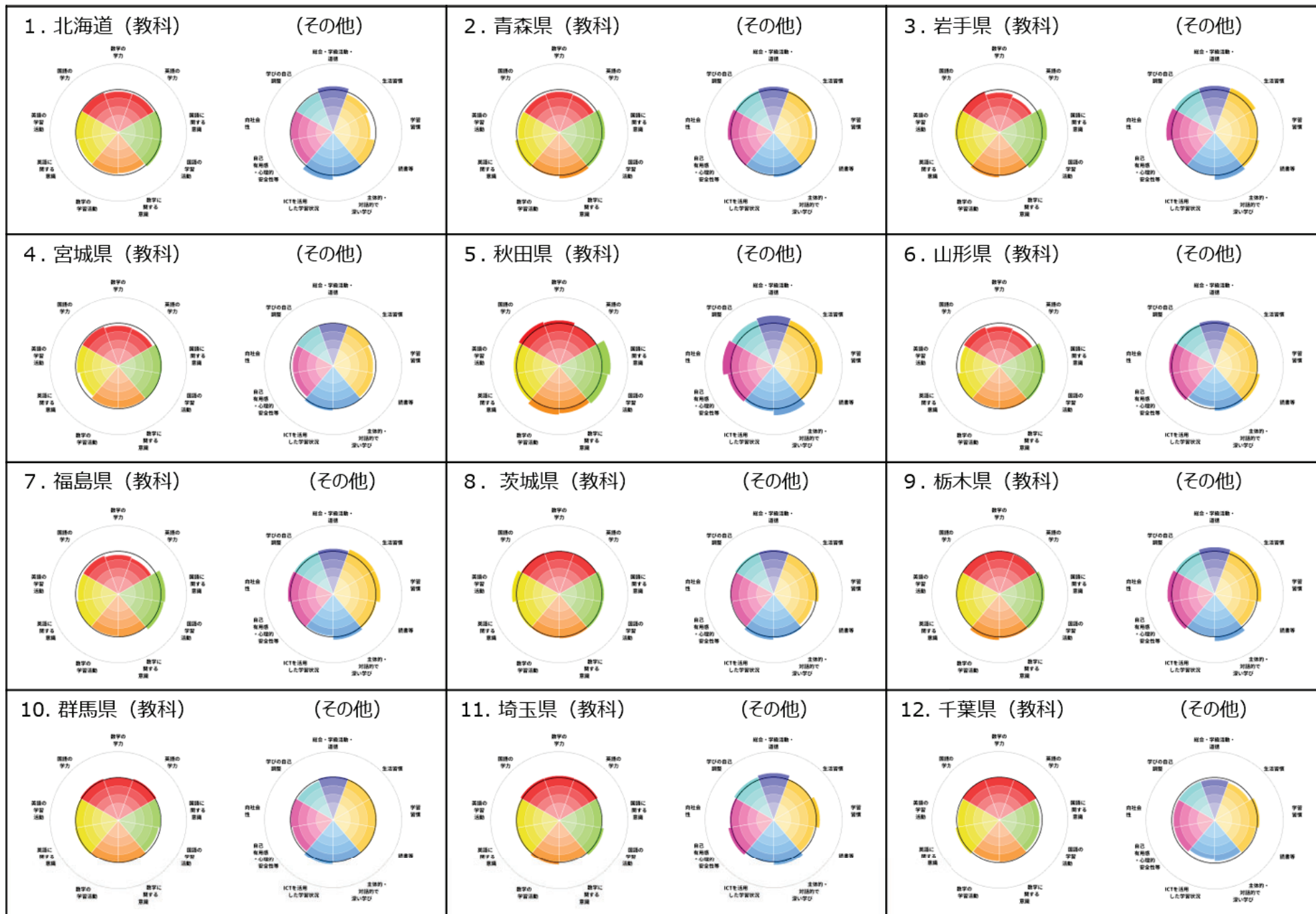
（その他）



① 都道府県（指定都市を含む）別 結果チャート

※ 結果チャートの見方についてはP13をご参照ください。

中学校



①都道府県（指定都市を含む）別 結果チャート

中学校

※ 結果チャートの見方についてはP13をご参照ください。

